

2005年2月9日

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社

東洋ビジネスエンジニアリング、IPACS社と提携 貿易業務管理システム「ALS」(Advanced Logistics System)の国内販売開始

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社(本社:千葉県習志野市茜浜2-6-3、取締役社長:千田峰雄 以下B-EN-G)はアイパックス社(IPACS e-Solutions (S) Pte Ltd、本社:シンガポール、CEO: Wong Sing Lam 以下IPACS)と業務提携を行い、貿易業務管理システムALS (Advanced Logistics System)の日本での販売および導入支援サービスの提供を開始いたしました。

B-EN-Gは国際物流分野において、貿易書類電子化、貿易金融EDIの構築、海外税関との電子接続の構築などを手がけてまいりましたが、今回のIPACSとの提携により国際物流業における基幹業務システムを含めたトータルなシステムのご提供が可能になります。

今回B-EN-Gが採用したIPACSのALSは、従来の貿易業務システムと異なり、グローバル規模での活用を想定したシステムであり、世界中に点在する拠点間のデータ連携を実現し、貿易業務のスピードと生産性の飛躍的な向上を支援するソリューションです。荷主企業における国境を越えた調達・生産・販売活動がさらに進むと予想される中、B-EN-GはIPACSのALSを中心とした国際物流トータルソリューションのご提供により、厳しい競争環境下の物流企業様を強力にサポートしていきます。

「IPACS e-Solutions (S) Pte Ltd.」について

IPACSは1983年の創業以来、一貫して貿易業務システムを中心とする国際物流ソリューションを開発し続けており、最先端の情報技術と多くの顧客企業の業務ノウハウをパッケージ化した貿易業務システムを提供しております。IPACSのシステムは東南アジアや中国を中心に多くの物流・製造業の企業にて採用されており、日本企業でも複数社が採用しております。

「ALS」について

ALS (Advanced Logistics Solution)は、海貨(海運貨物取扱業者)、通関、NVOCC(外航利用運送事業者)業務を行う国際物流業向けのパッケージ業務システムです。輸出地での海貨・通関業務からNVOCC業務、更に輸入地でのNVOCC業務から海貨・通関業務まで、一連の国際物流業務をカバーすることにより、情報の一元化と業務生産性の向上を実現するソリューションです。

「東洋ビジネスエンジニアリング」について

東洋ビジネスエンジニアリング(B-EN-G)はIT企画、BPR実施のビジネスコンサルティング、IT導入コンサルティングから、システム構築サービス、運用サービスにわたり、ERPを中心に豊富な実績を有するビジネスエンジニアリング企業です。またERPをベースとしたSCM、CRM導入支援ならびに中国を初めとしたグローバル展開支援での実績を積み重ねています。

1999年4月、東洋エンジニアリング株式会社のIT事業部から分社・独立し、情報サービス事業を開始致しました。国際的総合エンジニアリング会社から引き継いだグローバルな調達・物流の現場ノウハウ、多数のITシステム導入プロジェクト、稼働後のシステム活用支援の経験から培った業務改革ノウハウ、システム導入・活用ノウハウを、「B-EN-Gプラクティス」として集大成し、コンサルティング、プロジェクトマネジメント、アウトソーシングを通じてお客様にご提供しています。

本件に関するお問い合わせ先

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社

【営業関係】

アドバンスソリューション本部 中村

電話：03-3560-6057 / FAX：03-3560-6059

E-mail：asmarketing@cs.to-be.co.jp

【広報関係】

経営統括本部 広報 猪野

電話：047-454-1263 / FAX：047-454-1145

E-mail：www@to-be.co.jp

<http://www.to-be.co.jp>

本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。

以上